



動物を保護する フランス法と政治

エレーヌ・チュイ

ボルドー弁護士会弁護士、フランス動物党創設者

幼い頃田舎に住む祖母が飼っていたニワトリを殺して食べるのを目にしたことがきっかけとなり、7歳から菜食主義者となる。大学では行政法を専攻し、並行して動物保護団体One Voiceでボランティア活動。

2012年より畜産動物保護団体L214の弁護士。動物保護法に違反する畜産業者や食肉大手会社に対する訴訟手続を手がける中、法律による保護の限界に気づき、2016年3月に動物党 (Parti animaliste) を創設。2021年7月に2022年フランス大統領選挙への立候補を表明し、テレビや新聞で大きく報道された。

著書「動物を救うことは私達人間を救うこと」(Renan Larue と共著、Le Bord de l'eau出版、2022)

セミナーの言語：フランス語

モデレーター：シモン・ノードマン、白鳥万里子

日本語への逐次通訳：永澤亜季子

フランスの動物法

- 🐾 法律の規定
- 🐾 適用の状況
- 🐾 訴訟手続、裁判例
- 🐾 法律による保護の限界

フランスの政治における動物保護

- 🐾 フランスとヨーロッパにおける動物愛護政党の活動
 - 🐾 欧州議会の動物保護政策
 - 🐾 国民意識への影響と今後の展望

質疑応答



2025年6月18日(水)
日本時間午後5時—7時

参加無料
要登録